

奈良ハイキングクラブは

日本勤労者山岳連盟に加盟しています

「労山」の呼び名で知られている日本勤労者山岳連盟は、1960年に深田久弥（登山家）、松本善明（弁護士・代議士）、田中澄江（作家・登山家）、谷口仙吉（映画監督）、丸木伊里（画家）、丸木俊子（画家）、山本薩夫（映画監督）、伊藤正一（登山家）など、わが国の進歩的な文化人 17 人が発起人となって結成された東京勤労者山岳会が全国規模で発展したもので、日本の登山界の中でも民主的な登山団体として、揺るがぬ地位を築いています。

そして、働く人々の健康を増進し、生活文化を豊かにし、緑豊かな自然を守る為、登山の正しい大衆化を目指し、全国の仲間が力を合わせて活発な活動を続けています。

また、大規模な自然破壊の元凶とも言える戦争に反対し、平和的行進を行うなどして反核平和の問題にも積極的に取り組んでいくことになり、『労山は緑と平和の番人』が合言葉となりました。

奈良ハイキングクラブは、1975年7月20日、奈良勤労者山岳会からハイキング志向のメンバーが分離独立して作られました。

◎大自然に親しみ、優しさ厳しさを学ぼう ◎健康でたくましい心を育てよう ◎登山を明日の生活の糧としよう ◎登山・ハイキングの技術を継承し、安全を第一とした事故のない活動を続けよう ◎新しい仲間作りをすすめ、お年寄りから子供まで楽しめる会にしよう ◎活動のフィールドを守るため自然保護活動を進めよう ◎大規模な自然破壊をもたらす戦争に反対し、平和を守ろう 以上のような趣旨の元に活動を続けています。

現在、奈良県では奈良ハイキングクラブのほか7つの団体が加盟して、奈良県勤労者山岳連盟を形成し、日本勤労者山岳連盟に加盟し活動しています。

日本勤労者山岳連盟



奈良県勤労者山岳連盟

奈良ハイキングクラブ、奈良勤労者山岳会、西大和山の会、こぶしの会、オオヤマレンゲ山の会、山行人山楽会、**ジョイアッセントクラブ**

入会について

だれでも入れる奈良ハイキングクラブです

《入会資格》

年齢・性別に関係なく、会の山行や行事に積極的に参加していただける方。

《入会手続き》

入会を希望する方には、事務所まで来ていただいて、奈良ハイキングクラブについて説明・紹介をします。それで納得して頂いた方に、所定の申込用紙に必要事項を記入し、入会して戴く、というようにしています。

《入会金》

1000円

《会費》

年会費 7,200円（年の途中で退会されても返金できません）

中途入会 600円／月（2月までの一括払い）

夫婦、親子などファミリーで入会される場合 会費は1家族7,200円
ただし、機関紙「あおがき」の配布は1家族1冊とし、総会での議決権は1としますが、意見の発言は自由に出来ます。（家族会員制度）

《会員証》

全国連盟から会員証が発行されます。割引料金で山小屋や山の店が利用できる事があります。

《遭対基金》

日本勤労者山岳連盟の労山新特別基金（遭対基金）に加入できます。

年間1口1000円です。10口まで加入できます。

途中加入は、月割り1口100円（期間は9月～翌年8月までになります）。

（10ヶ月以上は1000円）

会の運営について

みんなで運営する奈良ハイキングクラブです

◎ 総会（原則として3月末）をひらいて1年間のまとめと新年度の活動計画を立てています。運営委員も選んでいます。会員の意見の交流の場です。

◎ 一人一役で会を運営しています。

運営委員として、会長、副会長以下、事務局、企画部、教育部、機関紙部、婦人部、自然保護部、財政部、安全対策部、ステップアップ部、**ホームページ部**、**PT（会員を増やすプロジェクトチーム）**があります。

入会後は何処かの専門部・チームに入り、原則として1年間は各部会を体験し、他部へ移籍、複数の専門部に入部できます。

◎ 運営委員……月1回の会議を開き会の運営に当たります。

- 1) 会長 ……会全体の活動を掌握します。
- 2) 副会長……会長の補佐をします。
- 3) 事務局……会員の把握・渉外・事務全般を行います。
- 4) 企画部……月1回の部会を開き山行の企画を行います。また山行**案内**の承認と管理や確認を行います。
- 5) 教育部……初級教室を企画・運営します。
- 6) 機関紙部……会報「あおがき」を編集・印刷（月1回・主に第4土曜）して、発送します。
- 7) 婦人部……女性の自主的な登山活動の推進や会員の親睦を図ります。
- 8) 自然保護**委員**……自然を守るため活動します。
- 9) 財政部……会の会計を担当します。
- 10) 安全対策部・会員の安全登山を目的に活動し、山行計画を承認・管理します。
- 11) ステップアップ部……岩、沢、雪山の基礎技術の習得を行います。
- 12) **ホームページ部**……**HPを作成・管理。山行案内、会員交流に利用しています。**
- 13) **PT（会員を増やすプロジェクトチーム）**……**会員を増やし、新入会をサポートします。**

◎以上のほか、県連盟の理事会に常任理事・理事として数名で出ており、県連の行事に積極的に協力・参加しています。（クリーンハイク・チャレンジハイ

ク・交流登山・自然観察ハイク・救助隊活動・搬出訓練など)

<http://narahikingclub.sakura.ne.jp/>

また、HP から事務局へメールがつながります。

では、一緒に山に行きましょう！

奈良ハイキングクラブは、

安全で多様な登山を目指しています
また会員それぞれの技術知識の向上を目指しています

1、 会報「あおがき」を見て、行きたい山行に参加しましょう！

- ◎ 山行ランクが書いてあります。ランクを参考にして、参加する山を選んでください。分からなければ、リーダー（CL）サブリーダー（SL）に相談してください。

山行ランク

- A・・・徒歩4～5時間まで、高低差の少ない家族向きのコース。
（例：山の辺の道 等）
- B・・・徒歩5～6時間、少し高低差のある一般的なコース
（例：二上山、葛城山。金剛山 等）
- C・・・徒歩6～8時間、距離が長く高低差もやや厳しくなるが難しいところがないコース（例：葛城山から金剛山縦走 等）
または、歩行時間は短くても簡単な岩場があるコース
（例：御在所中道 等）
- D・・・徒歩時間・距離に関係なく技術的に難しい山行。岩稜のある縦走・沢・岩・雪山など。

- ◎週末の例会山行のほかに、平日山行、マイクロバス山行や夏山登山バス、県連行事などもあります。山行の5日前までに、各リーダーに申し込んでください。

- ◎もし、急に参加できなくなった時、欠席の連絡は必ず入れてください。

2、 初級登山教室に参加しましょう！

初級登山教室では、山道具の選び方から地図の見方、テント泊、雪山歩きまで系統立てて指導します。開講は4月からですが、8月までに入会され

た方は途中からでも参加できます。是非、参加して下さい。

もっと上を目指したい方のため為に、県連の「ハイキングリーダー学校」もあります。

3、 自主山行もあります

例会山行だけではなく、会員同士で山へ行くなどの活発な活動をしています。

自主山行は日帰りであっても、

安全登山の為に必ず山行計画書を提出しましょう

また、単独山行は原則として禁止です。

◎ 山行計画書の提出は安全対策部です。

安全対策部へ

詳細は「あおがき」に掲載しています。

☆計画書・報告書の形式（別途）・・・コピーして使ってください。

☆メールで送る事もできます（安全対策部担当者に連絡ください）

☆下山したら報告も必ずしてください。

4、 会の装備も借りる事が出来ます。

使用頻度の少ない装備や特殊な装備については、会で購入しているものがあります。事務所の貸し出しノートに記入して自由に使っただけです。（テント、コッヘル、ザイル、ヘルメット、ハーネス、等）

5、 連れて行ってもらう登山から、自立した登山者へ

奈良ハイキングクラブで活動をしていると、今まで気づかなかったいろいろな事が見えてきます。

- ・ クリーンハイクを通して、山のごみの問題。
- ・ 自然保護活動を通して、オーバーユースの問題。
- ・ 搬出訓練を通して、山での怪我や事故の大変さ。
- ・ CL、SLの様子を見ていて、グループ登山のあり方や協力の仕方。
- ・ チャレンジハイクを通してさまざまな人との交流。
- ・ 平和活動を通して山にいけるのも平和であればこそ・・・と。

自分で計画を立て、例会のリーダーや自主山行ができるように、安全で楽しい山歩きができるようになりましょう。

私達、奈良ハイキングクラブの仲間は応援しています